平成 **26** 年度事業 事後評価·決算 **事務事業マネジメントシート** 平成 27 年 6 月 1 日作成

Juli.	事務事業名	下布施農村体験施	設整備事業		所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
総	政策名	政策名 〈Ⅴ〉挑戦し活力を産みだすまち≪産業≫				尾原ダム振興G	課長名	西村健一
総合	施策名	施策名 〈38〉観光の振興				吾郷雄一	電話番号	0854-40-1012
計	日 상	意 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。			担ヨ有右	古卿雄一	(内線)	3519
画	的 象 111.750.	対 京 市外の人・市民 図 市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。				会計 款 大事業 大事 ダム対策事業		+ 华 車 衆
体		基本事業名 〈117〉受け入れ施設の充実				4 0 0 5 0 2 業	名	
系		Ş	意受け入れ施設を整える。					范農村体験施設整備事
	的象		N N N N N N N N N N N N N N N N N N N			0 5 0 5 0 8 業	名業	

1 現状把握【DO】

(1) 争耒慨安
① 事業期間
□ 単年度のみ □ 単年度繰返
(年度~)
▼ 期間限定複数年度
(24 年度~ 27 年度)
② 事業内容
(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

下布施残土処理場にホースセラピー体験施 設を整備する。なお、施設については、平成 26年度から株式会社雲南TRCへの指定管 理とする。

H24:実施設計

H25:交流施設、厩舎等施設整備 H26:駐車場整備(舗装等) H27: 厩舎等施設整備

(2)事務事業の手段・指標

	① 主な活動								
	26年度実績(26年度に行った主な活動	功)		27年度計画(27年度に計画する主な活動)					
手段	駐車場等外溝整備(舗装等)				等施設整 備				
	②活動指標	単位		F度 績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)		
ד	'工事·委託件数	件		1	5	7	2		
1	,								
۲	,								
٦									

(3)事務事業の目的・指標

	3/争伤争未の日的 拍惊							
	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
		ア	契約数	件	1	5	7	2
	整備事業	イ						
E		ゥ						
的	2 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
		ア	進捗率	%	4.9	76.0	88.0	100.0
	着実に整備を図る。 	イ						
		ゥ						

(4) 事份事未のコヘト								
① 事業費の内訳(26年度決算)		2	コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
工事請負費: 13,066千円			国庫支出金	千円				
委託費: 3,466千円	+	財源	県支出金	千円				
負担金(ケープル):3,509千円	事	源内	地方債	千円	4,800	79,900	17,600	45,000
その他(事務費): 487千円	費	訳	その他	千円	397	101	2,928	
		п	一般財源	千円				
			事業費計(A)	千円	5,197	80,001	20,528	45,000
	人件		正規職員従事人数	人	2	2	2	
			延べ業務時間	時間	240	240	2,400	
	費		人件費計(B)	千円	940	934	9,331	_
		<u> -</u>	-タルコスト(A)+(B)	千円	6,137	80,935	29,859	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
尾原ダム地域に開かれたダム整備計画に基づき、残土処理場の基盤整備を国土交通省が行い、跡地を利用した施設整備を雲南市が行った。 その後、アンケート調査を踏まえ、地元の意向を把握したうえで整備を行ったものである。	新規事業のため改善なし。	旧木次町時代から熱望されている施設である。

所属部 政策企画部

所属課 <mark>地域振興課</mark>

2	事後評価	(SEE)
---	------	-------

2	事 1	俊評	·価【SEE】								
	\odot	政策	を体系との整合性 かんしゅう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ しょう かんしょ しょう かんしょ しゅう	この事務事業の目	目的は市の)政策体系に結びつくか?	意図することが結びついているか?	見直し余地があるとする理由			
_			見直し余地があ	る 🔽 絹	びつい	ている	* 余地がある場合■)			
Α											
目的	2	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して達成する目的か?									
野妥			見直し余地があ	る 🔽 妥	当であ	る	* 余地がある場合■	7			
当											
性	3	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか?意図を限定・拡充する必要はないか?									
1-			見直し余地があ	る 🗹 道	切であ	<u>る</u>	* 余地がある場合■)			
	4				也はあるな			?何が原因で成果向上が期待できないのか?			
			向上余地がある			尾原ダム地域に	-開かれたダム整備計画に基	づき整備を進めるため。			
		✓	向上余地がない		理由						
	(.1	4.1.0.4.8	○ B/ 網 → -			2.000				
	(5)			・00 影響 この事	務事業を		影響の有無とその内容は?				
В			影響無 影響有			地域振興策が一	一つ減る。				
B有効					理由						
効											
性	<u>6</u>	類化	事業との統廃会	・連携の可能性	日的達	成にけ この事務事業以	めの手段(類似事業)けたいか? あろ提会	、その類似事業との統廃合・連携ができるか?			
)		他に手段がある				户。	この規模事業との制統占 足跡がこともが、			
	'		┗			事業名)					
			´ ☐ 統廃合•	連携ができない		国の直轄施設の	D周辺を活用した独自事業でる	あり、類する事業はない。			
					理由						
		V	他に手段がない		连田						
		= **									
	\odot				業費を削		や工法の適正化、住民の協力など)				
			削減余地がある		業費を削		や工法の適正化、住民の協力など))実施により、経費節減に努め)、事業実施した。			
					業費を削ります。)、事業実施した。			
С			削減余地がある					の、事業実施した。			
C 効			削減余地がある 削減余地がない		理由	ワークショップ <i>0</i>)実施により、経費節減に努め				
C効率	8	□ ✓ 人件	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時	間)の削減余地	理由	ワークショップ <i>0</i> を下げずにやり方のエ)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないか?)、事業実施した。 ・ ・ ・ 正職員以外や外部委託ができないか?			
C 効	8	人件	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がある	問)の削減余地	理由	ワークショップ <i>0</i> を下げずにやり方のエ)実施により、経費節減に努め				
C効率	8	人件	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時	問)の削減余地	理由	ワークショップ <i>0</i> を下げずにやり方のエ)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないか?				
C効率	8	人件	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がある	問)の削減余地	理由	ワークショップ <i>0</i> を下げずにやり方のエ)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないか?				
C 効率性	8	人件	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない	間)の削減余地	理由 成果? 理由	ワークショップ <i>0</i> <u>を下げずにやり方のエ</u> ない。(コストに))実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないか? 対する人件費は少ない)	・正職員以外や外部委託ができないか?			
C 効率性 D	8	人件 受益	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない ・費用負担	間)の削減余地	理由 成果? 理由	ワークショップの を下げずにやり方のエ ない。(コストに) 容が一部の受益者に)実施により、経費節減に努め 夫で延べ業務時間を削減できないか? 対する人件費は少ない)	P 正職員以外や外部委託ができないか?			
C 効率性 D	8	人件厂	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がない 削減余地がない 上機会・費用負担 見直し余地があ	間)の削減余地 の適正化余地 る	理由 成果 事業内	ワークショップの を下げずにやり方のエ ない。(コストに) 容が一部の受益者に)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないか? 対する人件費は少ない)	P 正職員以外や外部委託ができないか?			
C効率性 D公平	(9)	人件厂	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がある 削減余地がない ・費用負担	間)の削減余地 の適正化余地 る	理由 成果? 理由	ワークショップの を下げずにやり方のエ ない。(コストに) 容が一部の受益者に)実施により、経費節減に努め 夫で延べ業務時間を削減できないか? 対する人件費は少ない)	P 正職員以外や外部委託ができないか?			
C 効率性 D	(9)	人件厂	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がない 削減余地がない 上機会・費用負担 見直し余地があ	間)の削減余地 の適正化余地 る	理由 成果 事業内	ワークショップの を下げずにやり方のエ ない。(コストに) 容が一部の受益者に)実施により、経費節減に努め 夫で延べ業務時間を削減できないか? 対する人件費は少ない)	P 正職員以外や外部委託ができないか?			
C 効率性 D 公平性	8	人件で	削減余地がある削減余地がない 計減余地がない 対減余地がない 機会・費用負担 見直し余地がある	間)の削減余地 の適正化余地 る	理由 成果 事業内	ワークショップの を下げずにやり方のエ ない。(コストに) 容が一部の受益者に)実施により、経費節減に努め 夫で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	・正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C効率性 D公平性	(1)	人件で	削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がない 削減余地がない 上機会・費用負担 見直し余地があ	間)の削減余地 の適正化余地 る	理由 成果 事業内	ワークショップの を下げずにやり方のエ ない。(コストに) 容が一部の受益者に)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C効率性 D公平性	(1)	人件 受益 少	削減余地がある削減余地がない 計減余地がない 対減余地がない 機会・費用負担 見直し余地がある	問)の削減余地 の適正化余地 る 5	理由 成果 事 理由	ワークショップの を下げずにやり方のエ ない。(コストに) 容が一部の受益者に)実施により、経費節減に努め 夫で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C効率性 D公平性	(1)	人件 受	削減余地がある削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がない がない ・費用負担 ・機会・費用負担 ・受工である ・公正である ・評価者としての ・調価者としての ・関いのである	間)の削減余地の適正化余地 るる。 評価結果	理由 成果 理由 事業 理由 見	ワークショップの を下げずにやり方のエーない。(コストに) ない。(コストに) 容が一部の受益者に(雲南市全体へ))実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C効率性 D公平性	(1)		削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がない 機会・費用負担 見面し余地である 評価者としての 目的妥当性 可効性	間)の削減余地 の適正化余地 る る が 評価結果 図 適切	理由成果。理由事業理由見見	ワークショップの を下げずにやり方のエーない。(コストに) ない。(コストに) 容が一部の受益者に(雲南市全体へ) 雪し余地あり 直し余地あり)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C効率性 D公平性	(1)		削減余地がない 計減余地がない 井費(延べ業務時 削減余地がない 土費(延端がない) 土機会・費用負担 見の平・公正である 評価者としての 評価者としての 評価者としての 評価な当性 弱対性 対対性 対対性	間)の削減余地 の適正化余地 る。 評価結果 図 適切 図 適切	理事理見見	ワークショップの を下げずにやり方のエーない。(コストに) ない。(コストに) 容が一部の受益者に付 雲南市全体へう 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C 効率性 D 公平性	(1)		削減余地がある 削減余地がない +費(延べ業務時 削減余地がない 機会・費用負担 見面し余地である 評価者としての 目的妥当性 可効性	間)の削減余地 の適正化余地 る。 評価結果 図 適切 図 適切	理事理見見	ワークショップの を下げずにやり方のエーない。(コストに) ない。(コストに) 容が一部の受益者に(雲南市全体へ) 雪し余地あり 直し余地あり)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C効率性 D公平性	(1)		削減余地がない 計減余地がない 井費(延べ業務時 削減余地がない 土費(延端がない) 土機会・費用負担 見の平・公正である 評価者としての 評価者としての 評価者としての 評価な当性 弱対性 対対性 対対性	間)の削減余地 の適正化余地 る。 評価結果 図 適切 図 適切	理事理見見	ワークショップの を下げずにやり方のエーない。(コストに) ない。(コストに) 容が一部の受益者に付 雲南市全体へう 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C 効率性 D 公平性 評価の総括	9	□	削減余地がない 計減余地がない ・費(延べ業務時 削減余地がない ・機会・費用負担 ・機会・要用負担 ・現面を出ての ・調効性 ・調効性 ・ないとしての ・調効性 ・ないとしての ・である。	間)の削減余地 の適正化余地 る。 評価結果 図適適切切 図適切切	理事理見見	ワークショップの を下げずにやり方のエーない。(コストに) ない。(コストに) 容が一部の受益者に付 雲南市全体へう 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり)実施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) ニっていて不公平ではないか? 受益 受益がある事業であり公平・公	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			
C効率性 D公平性 評価の総括 3	(8) (9) (1)		削減余地がない 計減余地がない ・費(延べ業務時 削減余地がない ・機会・費用負担 見面・公正である 評価者としての 語効性 かな性 いな性 いな性 いなである	間)の削減余地 の適正化余地 る。 評価結果 図適適切切 図適切切り	理 東 理 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	ワークショップの を下げずにやり方のエーない。(コストに) ない。(コストに) 容が一部の受益者に付 雲南市全体へう 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり 直し余地あり	文字施により、経費節減に努め 大で延べ業務時間を削減できないかで 対する人件費は少ない) 高っていて不公平ではないかで 受益 受益がある事業であり公平・公 (2) 1次評価結果の総括(対 着実な計画の進捗が図られ	ア 正職員以外や外部委託ができないか? 者負担が公平・公正か? ・正である。			

<u>3</u> 今後の方向性【PLAN】	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □事業:馬の力を借りて、メンタルヘルスの不調や不登校などで「生きることに困難」を感じている方や軽度発達障がいの方を含め、子どもから、高齢者までのあらゆる世代が必要とする現代社会を生き抜くための力を育む活動を実践していく。	コスト 削減 維持 増加 上 成維 果 持 低 下 × × 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向
	上しない、もしくはコスト維持で成果低下で
	は改革・改善とはならない。